

アルカス☆塩釜☆ いじめ No! ディスカッション 各グループの意見

〔Aグループ〕

・ 集団で…

- ① 学校で塩釜警察署生活安全課の小林さんにいじめに関する話をしてもらおう。
- ② いじめのニュースを取上げ、集会やクラスの中で話し合いをもつ。そして、多くの人に知ってもらい、関心をもってもらおう。
- ③ SNSでの悪口を通報する。
- ④ いじめがあったらクラスで会議をする。
- ⑤ いじめアンケートは自分たちで集計し、みんなが関心をもてるようにする。

・ 個人で…

- ① アプリをダウンロードするときに、規約をしっかりと読む。
- ② いじめについて、先生や大人に相談する。
- ③ 犯罪など、最悪のことを想定してみる。

〔Bグループ〕

- ① いつもとは違う友達と遊んだり、はっきり物事が言える友達と仲良くする。
- ② いじめへの意識を高める。自分の行動がいじめにつながってしまうかどうか考えて行動する。
- ③ ポスターやプリントを作成し、いじめは犯罪だということを多くの人に分かってもらうことが大切。

これからの取組…

- ・ 話し合いをする学校を作っていきたい。
- ・ 相手の良さを見つける。
- ・ 自分の意見をはっきり言う勇気をもつ。
- ・ ひとりぼっちの人に声掛けをする。

〔Cグループ〕

いじめの種類は…

「悪口」「無視」「仲間はずれ」「暴力」「食べ物」「物」「精神的」「たかり」の8種類。特に「悪口（SNSでの）」と「物（かくし）」がよく起きていることが分かった。

悪口は「話題がない」「きらいだから」、物でのいじめは、「困らせてみたい」「それが欲しい」など、自己中心的な理由。それらを止められないのは、「自分もいじめにあう」「いじめという認識がない」ことが原因。

・ 個人で…

① 「やめて」という勇気をもつ。

・ 集団で…

① 相手の良いところを認める。

② いじめは良くないという雰囲気づくりが必要。あいさつやしぐさが大切。二中で行っているあいさつ運動や、杉の入小の杉小しぐさにこれからも取り組んでいく。

・ 先生方へのお願い

グループ活動を増やし、いろいろな人とかがわれる環境づくりに協力していただきたい。

〔Dグループ〕

いじめがなくなる原因は…

- ・ 物を隠すことをいじめだと考えていない。
- ・ 注意する人がいない。
- ・ 自己中心的な考え
- ・ 学級の問題
- ・ 心の問題

効果的な取組…

- ・ いじめに関する授業をしてもらい、いじめが及ぼす影響について全員で学ぶ。
- ・ 悪口や精神的ないじめを無くすために、「人の良いところカード」に取り組み集団の絆を深めていく。
- ・ いじめ防止ポスターづくりを行う。特にたくさんの人に見てもらえるよう、デザインを工夫する。
- ・ 信頼できる先生や親との定期的な相談を設ける。

〔Eグループ〕

- ① 環境を変えて元気に笑顔で挨拶をする。（相手との絶妙な距離感をもつ）
- ② 自分を見つめ直す。

- ③ 相手への接し方に気を付け（先入観をもたない）、いろいろな人に接していく。
- ④ 人の良いところに目を向ける。月に1回、友達の良いところだけを見つける活動を行う。また、地域ぐるみで子どもたちの様子を見守る活動があればよい。
- ⑤ 放送、ポスターなどで、いじめ防止に向けた呼びかけ活動を行う。
- ⑥ 自分の気持ちを書くアンケートを実施する。
- ⑦ 心を一つにできる、そして、みんなで乗り越えられる大きな出来事（文化祭、体育祭）に取り組む。
- ⑧ いじめを見たら注意をする、先生に言う。いじめている側の人の話をよく聞き、相談相手になる。
- ⑨ 友達や家族に相談する。

【Fグループ】

- ① 友達とたくさん話したり、大切に接する。（いじめ防止）
 - ② みんなでいじめについて話し合う。（集団防止）
 - ③ 学級全体で遊んだり話したりして、仲の良い学級を作りたい。
- ・ 大人や先輩、友達に相談する。
 - ・ 学校で、いじめについて話し合ったり呼びかけをしたりする。

【Gグループ】

- ① いじめについて知識を深めることが大切。いじめ防止ポスターを作成する。
- ② いじめについて知った上で、一人である人をなくしたい。
- ③ 積極的に人とかかわる、一人である時間を減らすなどにより、仲間はずしや無視を減らす。
- ④ 相談する相手を作っておき、すぐに相談する。
- ⑤ 道徳心を育てることにより、いじめをしようとする考えをもてなくさせる。
- ⑥ いじめは許されないこととするクラスの雰囲気づくりを行う。
- ⑦ 心を強くし、いじめを止められる雰囲気づくりが効果が高いと思われる。

【Hグループ】

- ① いじめられている人を一人にしない。話しかける、一緒に帰る、遊ぶ、友達になる、意見を聞いてあげるなどが大切。
- ② いじめを止めさせる環境づくりに努める。多人数で止めさせる、何人かで注

意、それいじめだね、と言える環境づくりが大切。

- ③ いじめられている子が先生に言えないときは、見た人が先生に言う。
- ④ 自分がされて嫌なことは相手にしない、相手の気持ちを考える。
- ⑤ いじめの原因はストレス発散という意見もある。大声を出す、趣味に没頭する、睡眠を十分とるなど、少しでも落ち着くことが大切。
- ⑥ 自分を見つめる。いじめる側は何でその人をいじめたがっているのか、嫉妬心からであれば、「相手を越える」という前向きな気持ちをもつようにする。
- ⑦ 自分で原因を作らないために、SNSに没頭しない。
- ⑧ 一人にさせない、いじめてる人が相手の気持ちを考える、感情を重視して考えていきたい。

※各グループの発表をまとめたもの。若干の修正を加えてある。